

第 79 回国民スポーツ大会実施要項（空手道競技）の変更について（2025 年 7 月 31 日）

頁	変 更 前	変 更 後
198	3 種別（種目）及び参加人員 (3) 組手競技団体戦は、各都道府県 1 チーム 5 人制とし、組手・形競技の選手より、成年男子 3 名、<u>成年女子又は少年女子 1 名、少年男子 1 名</u>で編成し、当日競技開始前にその都度メンバー表を提出して行う。	3 種別（種目）及び参加人員 (3) 組手競技団体戦は、各都道府県 1 チーム 5 人制とし、組手・形競技の選手より、成年男子 3 名、<u>成年女子又は少年女子 1 名、少年男子 1 名成年女子 1 名、少年男子又は少年女子 1 名</u>で編成し、当日競技開始前にその都度メンバー表を提出して行う。
199	4 競技上の規程及び方法 (1) 組手競技 ウ 団体戦は、上記 3 の(3)により成年男子、<u>少年男子及び成年女子か少年女子</u>から編成する。なお、同点の場合の勝者決定戦代表選手は、当該競技出場者の成年男子の中から出場する。	4 競技上の規程及び方法 (1) 組手競技 ウ 団体戦は、上記 3 の(3)により成年男子、<u>少年男子及び成年女子か少年女子成年女子及び少年男子か少年女子</u>から編成する。なお、同点の場合の勝者決定戦代表選手は、当該競技出場者の成年男子の中から出場する。
	5 予選方法 (2) 各ブロック大会主管都道府県連盟は、<u>国体</u>実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に参加する形競技の代表都道府県を決定する。	5 予選方法 (2) 各ブロック大会主管都道府県連盟は、<u>本大会</u>実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に参加する形競技の代表都道府県を決定する。
201	10 参加上の注意 (1) 安全具について ア 組手競技においては、危険防止のため公益財団法人全日本空手道連盟承認の安全具（ニューメンホー〔Ⅶ〕（マウスシールド装着）、拳サポーター[赤・青]、マウスピース〔任意とする〕、セフティーカップ[男子のみ]、ボディプロテクター、チェストガード[女子のみ]、インステップガード・シンガード[赤・青]）を使用すること。拳サポーター、ボディプロテクター、インステップガード・シンガードは WKF 検定のものも可とする。チェストガードは WKF 検定のものとする。	10 参加上の注意 (1) 安全具について ア 組手競技においては、危険防止のため公益財団法人全日本空手道連盟承認の安全具（ニューメンホー〔Ⅶ〕（マウスシールド装着 <u>〔任意とする〕</u>）、拳サポーター[赤・青]、マウスピース〔任意とする〕、セフティーカップ[男子のみ]、ボディプロテクター、チェストガード[女子のみ]、インステップガード・シンガード[赤・青]）を使用すること。拳サポーター、ボディプロテクター、インステップガード・シンガードは WKF 検定のものも可とする。チェストガードは WKF 検定のものとする。